

大熊町と大林道路株式会社との連携協定の締結について

大熊町
大林道路株式会社

福島県大熊町及び大林道路株式会社は、大熊町におけるゼロカーボン推進による復興まちづくりについて、実証実験の実施を通じた連携・協力について連携協定を締結いたします。

本協定の下、大熊町と大林道路株式会社は、再エネ発電に関する新技術の現場実証に関することについて連携・協力を促進します。

1. 経緯

大熊町では、2021年2月に策定した「大熊町ゼロカーボンビジョン」において、全国に先駆けた地域として「2040年までのゼロカーボン達成」を町の目標として掲げています。この目標の達成のためには、再生可能エネルギーを最大限に導入するべく、新技術を積極的に取り入れ、「実証の場」としてゼロカーボンを推進する必要があります。

今般、震災以後浜通りの復旧・復興事業にご尽力いただいている大林道路株式会社より、大熊町役場駐車場を活用した路面太陽光発電技術の実証実験を行うことについて提案がありました。路面太陽光発電は、車両や歩行者が通行する道路空間を活用した発電技術であり、再生可能エネルギーの最大限の導入に資する新技術として国内外で期待されています。大熊町としても、本実証実験の実施がゼロカーボンビジョンの実現に資するものであることから、大林道路株式会社との間に「ゼロカーボン推進による復興まちづくり」に関する連携協定を交わし、その枠組みの下で、本実証実験の実施を通じた連携の一層の推進・発展を図ることとしました。

2. 連携協定の内容

(1) 目的

2021年3月に大熊町が策定した「大熊町ゼロカーボンビジョン」を踏まえ、大林道路株式会社の有する技術・知見を生かして、相互に協力し、ゼロカーボンの推進による復興まちづくりにより、大熊町の2040年までの脱炭素社会の実現を図り、持続可能な地域社会の先進モデルの形成に寄与することを目的とする。

(2) 連携分野

1. 再エネ発電に関する新技術の現場実証に関すること
2. その他ゼロカーボン推進による復興まちづくりに関すること

(3) 期間

2023年9月1日から2025年3月31日まで

(以上)